

平成26年度 第1回和光市自立支援協議会 会議録（要録）

- 1 日 時 平成26年9月19日（金） 午後3時30分～午後4時30分
 2 場 所 和光市役所 5階 502会議室
 3 出席者 18名

	所 属 団 体 等	氏 名
会長	十文字学園女子大学人間福祉学科	佐藤 陽
副会長	特定非営利活動法人 耀の会	関 正視
委員	社会福祉法人教友会 (和光市中央障害者相談支援事業所)	市村 麻衣子
委員	すずらん	田畑 康治
委員	特定非営利活動法人 ポコ・ア・ポコ	山本 恵子
委員	東武中央病院	高萩 哲
委員	埼玉県朝霞保健所	谷戸 典子
委員	埼玉県立和光南特別支援学校	折原 則子
委員	和光市教育支援センター	小寺 恵理子
委員	朝霞公共職業安定所	小久保 勉
委員	和光市身体障害者福祉会	下川 初江
委員	和光市心身障害児・者を守る会	深野 正美
委員	特定非営利活動法人 耀の会	関 正視
委員	和光市社会福祉協議会	野川 希代子
委員	特定非営利活動法人和光虹の会	海老原 利昭
委員	公募による市民	井本 昭
委員	その他市長が必要と認める者	高田 奈歩
委員	その他市長が必要と認める者	近藤 憲

- 4 欠席者 1名

	所 属 団 体 等	氏 名
委員	和光市商工会	本橋 淳男

（事務局）保健福祉部東内部長

福祉政策課 阿部課長 浅井統括主査

社会福祉課 星野課長 岸本課長補佐 工藤統括主査 野口主査 中田主事

- 5 傍聴者 3名

1 委嘱式

市長より委員へ委嘱書を交付

2 会長及び副会長の選出

【 東内部長 】 委員一斉改選後の初回会議のため、会長副会長が決まるまでは、私が仮議長を務めます。まず委員の自己紹介をお願いします。

<委員自己紹介>

【 東内部長 】 自立支援協議会要綱6条には、会長副会長は互選により定めることになっております。どなたか立候補される方がいたらお願いします。立候補がないようでしたら、推薦をお願いします。

【 関委員 】 前年に引き続き、会長に佐藤先生、副会長には、新たに深野委員を推薦したい。

【 東内部長 】 会長職に佐藤先生、副会長に新たに深野委員との推薦がありました、いかがでしょうか。

<全員賛同>

【 東内部長 】 では、佐藤会長と深野副会長よろしくお願いします。これで仮議長を降ります。

【 佐藤会長 】 議長を務めます。議事録署名人については、名簿順とし、森田委員と市村委員をお願いします。

3 障害者等の現状について

事務局説明

資料2 チャレンジドを取り巻く現状

資料3 第3期障害福祉計画における進捗状況について

【 佐藤会長 】 質問やご意見がありましたらお願いします。

【 委員 】 なし。

4 第4期障害福祉計画の方向性について

事務局説明

資料4 第4期障害福祉計画（概要版案）

資料5 ニーズ調査チャレンジドチェック

【 佐藤会長 】 昨年度策定した第四次和光市障害者計画において、地域包括ケアシステムを基本方針としている。それを踏まえ障害福祉計画として、具体的なサービス見込み量を示す。分析については、チャレンジドチェックの未回収者に対し、訪問を行い、実証性を高める。これらの取組みは、他市と比較しても、和光市は相当努力し、前向きなものとして評価できる。また、独自施策を取り入れるなど、障害施策に力を入れていることも分かる。

▼ニーズ調査（チャレンジドチェック）について

【 関委員 】 ニーズ調査は3年間で全障害者に実施するのか。

【 事務局 】 3年間で全手帳所持者及び難病患者（難病患者入院見舞金申請者）に実施する予定である。来年再来年度は約700人を想定している。

▼個人の状態像把握について

【 井本委員 】 障害者全体を見ると、高齢化していて、生活習慣病等で手帳を取得される方もいる。ニーズ調査の中で、このような個人の状態像は浮かび上がるのか。

【 事務局 】 今までは、障害者の実態の把握があまりできていなかった。実態とは、ADLやIADL等である。ニーズ調査は、AさんBさんの状態像を把握し、どの部分で生活の自立ができないかを明らかにする。一方で、サービス（給付）の実績を障害区分ごと等に分類し、実態を明らかにする。また、コミュニティケア会議の障害者部会の中で、一人ひとりのケアプランを約150件作ってきた。これを見ていると、知的障害のある方で、栄養マネジメントができていないことやホルモンの分泌等で体重が増加してしまい、脳梗塞を発症してしまう実態が見えてきている。重症化予防や、障害者のための生活習慣病予防が必要なことが分かる。予防施策についても今後は重点的に考えていきたい。これら3つの視点（ニーズ調査、サービス実績分析、コミュニティケア会議）から分析を進めて、時間はかかるが、優先度を付けて、効果的な施策を講じていきたい。

▼障害者手帳を所持していない障害者への対応について

- 【 関委員 】手帳を所持していない障害者の方も多い。手帳所持者以外への支援は何か検討しているか。
- 【 事務局 】健康づくり基本条例は、行政からの情報の照会ができるもので、医療機関や本人からの情報提供等の権利義務を課した条例である。これにより、孤立予防や自殺予防などに関わることができる。また記名式の調査も行っている。これらのデータから精神疾患の方や精神障害の方を把握している。また、国民健康保険（国保連データシステム）のデータ分析を行っている。この分析から、メンタル疾患関係の方についてはある程度抽出していきたい。

5 今後のスケジュールについて

事務局説明

資料6 和光市第4期障害福祉計画策定スケジュール

資料10 和光市自立支援協議会計画策定部会（案）

▼会議回数について

- 【 井本委員 】2月の自立支援協議会では、案が固まったものが資料となる。もう少し前の段階で案の検討をしたい。
- 【 佐藤会長 】部会で見えたものを本会議の委員にも検討できる機会を作って、内容を精査し、良い計画としていきたい。
- 【 事務局 】12月に追加で自立支援協議会を行うようにする。

▼策定部会メンバーについて

- 【 深野副会長 】市内には精神障害の方が多い。策定部会には、当事者だけでなく、精神障害者の団体の方を入れた方がよいのではないか。
- 【 事務局 】輝の会会長の関委員にオブザーバーとして入っていただくことでどうか。
- 【 関委員 】本会議の委員に入っている。そこで意見を述べるので、策定部会の委員に加わる必要はない。どこかの段階で案を検討できるのであれば問題ない。

6 その他について

▼会議の日時について

- 【 高田委員 】会議日程が決まった場合には、早めに教えてほしい。
- 【 近藤委員 】会議時間は午後で設定していただきたい。
- 【 佐藤会長 】午後で設定をお願いします。
- 【 事務局 】日程を早めに通知し、時間帯は午後で設定する。